



報道発表

2019年12月3日

株式会社アルガルバイオへの投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社アルガルバイオ（本社：千葉県柏市、代表取締役：竹下毅）に対する投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

アルガルバイオは、東京大学の河野重行名誉教授らの藻類に関する先端育種の研究成果をもとに設立されたベンチャー企業です。同社は、微細藻類を活用して顧客のニーズに応じた天然物由来の食品や化粧品、医薬品の原材料、バイオ燃料などを生産するための独自技術を保有しています。

これまでの研究により、アルガルバイオは約 3000 株の微細藻類のライブラリーを構築しており、機能性材料として有用なカロテノイド類や希少脂肪酸などを藻類により効率的に生産することに成功しています。これらの研究には、京都大学大学院人間・環境学研究科の宮下英明教授も寄与しており、宮下教授はアルガルバイオの技術顧問も務めています。

京都 iCAP では、化石燃料に頼らず二酸化炭素と太陽光から有用材料を大量生産可能なアルガルバイオの技術力を評価し、総額約 4 億円の第三者割当増資のうち 5000 万円を引き受けることとしました。なお今回の増資には、東京大学エッジキャピタル、科学技術振興機構、Abies Ventures、ちばぎんキャピタルも参画しています。

株式会社アルガルバイオ概要

設立	2018年3月
事業内容	藻類を利用した機能性材料などの製造・販売
本社所在地	千葉県柏市
代表取締役	竹下毅

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016年1月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする 160 億円



の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp